平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ４１７ ※記入不要	提案機関名	林務課

要望問題　森林資源の利用に関する技術開発　製材廃材の有効利用開発

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

背景及び内容：森林資源の持続的な管理と資源循環型社会の実現の一つとして、県産材の有効活用が重要な政策課題となっている。

木材の加工施設である製材所においては、製材端材の処理に苦慮しており、商品化による消費の拡大が大きな課題となっている。県西部地域においてこうした製材端材の有効利用を目的とした新しい住宅用断熱パネルの開発がはじまっている。ところがこれまで性能評価が行われていないことや、製造の効率化が行われていないことなど、解決すべき問題点が指摘されている。そこで実用化のための性能評価及び技術開発を願いたい。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（　②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場　） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（　⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場　） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター研究部
部　　署：森林資源グループ	
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
森林資源の有効利用に関する研究

本年度から製材工場の端材などを利用した断熱パネルの実用化研究を行っております。研究項目は
①断熱パネルの性能評価
②パネル製造工程省力化の検討
の２点です。
なおこの研究につきましては産業技術総合研究所との共同研究となっております。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	